

都島だより

発行責任者

森 芳信

〒270-1164
千葉県我孫子市つくし野3-13-107
TEL 04-7184-8443



(社)浪速工業会
関東支部会報

2013年(平成25年)1月 第46号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056
横浜市港南区野庭町696-6
TEL.045-841-8885

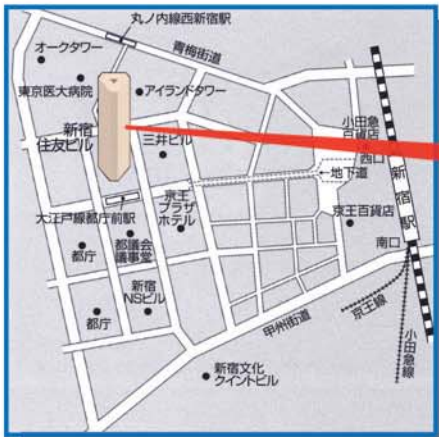
E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28岡田宏三

NEWS46号

関東支部・現在会員数 ◆ 合計552名

◆M・機械112、ME・機械電気27名◆A・建築98名◆E・電気・電子工学171名◆C・土木・都市工学53名◆C I・工業化学・理数64名◆L・普通14名◆工専13名



新宿住友ビル47階



東京住友クラブ
にて開催いたします!

交通のごあんない
JR[新宿駅西口]より 徒歩8分
東京メトロ丸ノ内線[西新宿駅]より 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線[都庁前駅] 直上

平成24年度
総会のご案内

関東浪速工業会、今年度の総会を左記の通り開催いたします。ご多忙中のこととお察し致しますが、万障お繰り合わせの上ぜひご出席ください。

●日時 平成25年4月27日(土) 13時~16時
●場所 東京住友クラブ

新宿区西新宿2・6・1 新宿住友ビル47階
TEL:03-3344-6285

●親睦会費 8,000円(女性会員は4,000円)
●平成年度卒業会員は無料!

※同封の返信はがきに出欠をご記入の上、
3月30日までに必ず投函して下さい。

関東工業会総会

2013年4月27日(土)
13:00より

特別講演会

【東京スカイツリー建設 高さ634mへの挑戦】

東京スカイツリー建設工事事務所 所長の大任を果たされた(株)大林組 田淵成明氏(A48卒)による講演会を開催いたします。ご期待下さい。



写真提供:(株)大林組

同期・先輩・後輩お誘いあわせの上
是非ご参加ください

昨年度の総会ご出席者

来 賓	岩井理事長	山崎副理事長	吉田学校長
機 械 科	M26上田英雄	M34石川芳夫	M36西村 功
機 械 電 気 科	M42山口忠雄	ME H16岡崎 彰	M42前田範行
6名			
建 築 科	A27清井栄治	A28西井 保	A37森 芳信
7名	A46柚木寿雄	A57信原利行	A H5竹田大輔
電 気 科	E29小林孝榮	E35田中 浩	E36赤尾仁史
11名	E36石垣英明	E36馬江治喜	E36佐治博司
	E36竹村繁幸	E41大髭輝雄	E44亀田光郎
土 木 科	C20榎本嘉信	C33明見和彦	C33松本信行
5名	C37若林伸次		C34毛谷村功
工 業 化 学 科	CI34柴田孝次	CI39馬場義甫	CI40菅家互通
4名			CI44門野 剛

参加者33名+来賓3名 合計36名でした

都工文化祭

特別講演会 聴講報告

〔東京スカイツリー建設・高さ634mへの挑戦〕

2012.11.24
母校にて

関東浪速工業会会長
A37 森 芳信

東京スカイツリー建設工務事務所所長の任を務められた榎大林組A48卒 田淵成明氏による講演会が、11月24日(土) 都工文化祭の特別イベントとして開催されました。明都館に集まった在校生と浪速工業会会員有志等約400数十名の聴講者が大型スクリーンに映し出される映像を見ながら田淵氏の講演に聞き入りました。まず「着工以来4年間の取り組み」に始まり、「3・11震災」時の映像も盛り込まれた『高さ634mへの挑戦』と題するDVDの視聴のあと、工事概要・進捗状況・施工計画・安全管理等専門的な内容も含めた多岐にわたる講演内容、そして田淵氏お勧めのスカイツリーからの眺望等、貴重な映像と技術の素晴らしさ、物作りに携われる喜びなどが熱く語られました。最後の質疑応答では、在校生(A科)からの技術的な実心な質問が相次ぎ、我々先輩として「実に頼もしい後輩!」と喜ばしく感じた次第でした。大変有意義な2時間を過ごす事が出来た講演会でした。この講演会は、今春開催された浪速工業会総会に関東浪速工業会会長としてお招きを受け出席させて頂いた折、岩井前理事長より「田淵氏に、都工で講演をして頂ける様御願ひして欲しい」との要請を受け、田淵氏そして榎大林組本社広報部にその旨御願ひをしまして、この快諾を頂戴し、実現出来た次第です。そして、この講演会に山崎理事長より、是非出席をとお招きを頂き聴講してきました。尚、当Mニュース冒頭に記載してきます通り、平成25年4月27日(土)に関東浪速工業会総会にても同様の講演をして頂く予定となっています。浪速工業

会総会には3年前より中部、関東各支部の代表者が招待を受け出席、理事長始め本部署の方々との交流を図らせて頂いています。



明都館での講演会



見学会参加レポート



M42 松本 勝

東芝科学館
2012.7.28



講演中の田淵氏

浪速工業会関東支部主催の行事としては最も暑い時期に開催される見学会に参加してきました。梅雨明け後の7月28日(土)午後、真夏の太陽が照りつけるJRC川崎時計台前に集まったのは首都圏在住の11名の元気な中

高年と1名のイケメン若者。S14年卒からH16年卒と歳の差65歳で、初めてお会いする方や、久しぶりに再会できた方などが集まりお互いに挨拶もそこそこに、駅前よりバスに乗って多摩川堤の近く川崎市幸区にある『東芝科学館』に向かいました。夏休み中の土曜日午後とあってファミリーでの来館者も多く、3時からの見学予約でしたが、担当幹事の機転と科学館側のご配慮により、すぐにスマートなユニホームに身をつつんだアテンダントがやってきて見学会が開始されました。1階から3階までの館内を創業当時の東芝の歴史から最新の製品、技術まで簡単に説明を受けた後、各自の興味深いコーナーでより見識を深めるためフリータイムとなりました。私は創業者の一人で日本のエジソンとも言われた藤岡市助氏が開発し、ちょうど100年ほど前に販売が開始されたタンダステン電球「マツダランプ」にとっても懐かしさを覚えました。しかし、この白熱電球も近年はLEDランプなどに押され、製造が中止される日も近いようです。ここでも世代交代の波は容赦なく押し寄せ、思わず我が身に照らしてみたいのでした。1時間半程度の見学のあと、川崎駅に戻りミューザ川崎内の居酒屋にて懇親会を実施しました。陽がまだまだ高い時間ではありましたが、暑い夕刻のさなか、私たちの我慢も限界に達していました。しかし担当幹事の交渉力がここにも如何なく発揮され予定より30分も早く、良く冷えた生ビールにありつくことができました。楽しい歓談の幕開けです。宴が進むにつれ話が弾み、仕事上の悩みや、異世代、異業種間での活発な意見の交換で盛り上がり、都工卒業生の人間性の豊かさや、出身地近畿圏を超えての幅広い浪速工業会の絆と活動の素晴らしさを改めて実感したひと時でした。毎年、魅力的な行事をいろいろと企画してくださる会長はじめ事務局、幹事の皆さまに感謝いたします。

秋のゴルフコンパへの報告

E36 竹村 繁幸

春の開催コースと同じく紫CCあやめコース(東)で10月25日に12名の参加者を得て新ペリア式のもと実施しました。コースはみどり鮮やかな殆ど平坦なフェアウェイでしたがボールが少しでも曲がると松林のセパレートへ。スコアは思ったより伸びず、優勝は2年ぶりに参加された 岩崎亮平さん(E29)がGR100 (HC22・8) NET77・2かつBGも獲得されました。尚、次回からは過去3年間のGR平均値より算出したローカルHCにて実施することになりました。また、秋のコンパは一泊懇親会との合同開催する方向で幹事会で協議します。



秋のゴルフコンパ・紫CCあやめコースにて



七爺・川治温泉で戯れる



文・イラスト
A27 清井 英治

一泊懇親会
2012.11.10~11

これって「七人の侍」か。違う、違う、違う！「七人の爺い」だ。それもとびきり《しよぼくれ》付きで。それにしても川治温泉は遠い。栃木県は日光市の端っついで福島県との境だ。都心から東武鉄道で3時間。何ーンもすることのない七爺だから来た。家では奥さん鬼の居ぬ間に洗濯中。亭主は元気で留守がいいと、羽を伸ばしてどこそこやらえ。川治温泉駅より送迎バスにて5分。一柳閣本館前エプロンへ到着。大女将、若女将を真中に、左右にずらりと仲間さんが並んで『ようこそおいで下さいました』と、ところが居ない？ 左右そして玄関前にも居ない！ どうもテレビの旅番組の観すぎか。今や温泉業界不況である。手拭い、歯ブラシ持参は当たり前で、リストラ中とか。いい幹事の菅家さん。フロントにてチェックイン。対応するフロントマネーじゃ、我らと同じしよぼくれ爺。クドクドと館内の説明中。そして最後に『フロント右手に浴衣があります。柄は5種類、サイズはL・M・S。選んで部屋をお持ちください。羽織と帯は部屋にあります』とボソボソと。七爺い選んでソロンロとエレベーターホールへ。シンドラー製ではない。《箱》に乗って5階へ。二部屋に籤引きにて別れる。部屋に入る。何と、まだ15時過ぎなの



に、もう蒲団が敷かれている。ここはフアンションホテルか！ 否、ちゃんとした温泉ホテルだ。しかしフロントには太目の30代の女性が居たが、売店にもフロアーでも《女》は見えない。まさか「オカマ専用ホテル」でもないが、我ら七爺いをオカマの団体と間違ったのかと、お互いの顔を見る。絶対に無い、断じてあり得ない！ と、納得。温泉はやはり入湯。七爺い13階へ。展望付きの大浴場である。少々微温いが、いい気分だ。入る、上る、入る、そして出た。エレベーター満員。一つ飛ばして次に乗る。12階に止まる。そういえば12階は女湯である。乞期待も、宝くじよりハズレ。当然のこと婆々のオンパレードだ。まア、あとは食事のみが楽しみだけか。このホテル8名〜30名位は宴会場の部屋があり、その他はバイキングで飲み放題とか、90分と限定で。七爺いだが、いい幹事の交渉力で《鬼怒の間》にて会席。6時宴に入る。カラオケも90分との説明有。料理は一応多種。但し少々冷いのは我慢。何しろ一泊二食付き飲み放題7800円なのだから。只、焼酎は鏡月と韓国品。ウイスキーは昔懐かしい角であるが、焼酎は鹿児島産に替えてもらった。それでも7800円は廉価と感ずる。まア、仲間さんが部屋でお茶を入れてくれるでなし、冷蔵庫は何も入ってなく持込自由。部屋の案内もなく、湯番も居ず、とことん無駄な人件費を切り、ギリギリのところでのセルフサービス、当然か。宴での会話etcカラオケやらず略。閉会後、部屋にて都工の想い出話、七爺いが七少年に変身の一刻。11時にお開きして2階の露天風呂へ。この



風呂は適度の42度であった。部屋に戻りバタンキュー。果たして、今、爺い婆々の夢か、紅顔の美少年の時かzzz... 翌11日は曇りだ。朝、バイキング朝食。省エネなのか？ 男の従業員一人のみ。8時に正面玄関にて記念写真を撮り、8時12分発の乗合バスにて湯西川温泉駅へ15分程で到着。湯西川道の駅は、地下ずつと下が野岩鉄道の「湯西川温泉駅」一階が待合室、チケツト売場、みやげ物店、レストランで、二階が日帰り温泉である。ビル名は「湯西川みちの駅ビル」果たしてこのビル何階建てなのか。まア、一階は分るが、階段をずーと下に降りると、鉄道の駅。勿論駅まですぐと下に降りると、地下でダム同士パイプで繋がっている。水不足時の対応なのだろう。ダム管理事務所に着き、エレベーターの乗載量の関係で乗員40人、四班に分かれてダム中間部へ。ここは地上60mである。正に狭いところを歩く《キャットウォーク》だ。しかし、一人を除いて大体は工業科、高い所、怖いもの無し。湖の中央からの三方の山は全山紅葉。しかし赤が少くない。常緑樹も少ない。客の誰れかが京都三尾の山の紅葉は日本一と。そう、梅の尾、横の尾、葛の尾だ。京都の山は、杉・松・檜のミドリがあり、その廻りが紅・黄・葉、山裾には真赤なモミジがあつて、



七爺 in 川治温泉

バランスがいいのである。まア、京都は「箱庭紅葉」と、「山岳紅葉」の地であるが、各、寺社仏閣の庭の赤のモミジは最高の駅へ到着。この道路脇にある真赤なモミジ、キレイだ。このたった一本だけがいい。その後、オモロイ事件もなく、レストランで舞茸のテンブラでビール組と、日本酒組と、ザルそばで一杯組と七人七様の七爺い。食事後、野岩鉄道で12時19分の浅草行きに乗車。途中トンネル内の龍王峡駅あり、ハイキングのひとは、ここで下車。龍王峡巡りがあるのだが、今回はバスして一路浅草へ。いやア楽しい旅であった。しかし疲れた。そして、数時間後は鬼女房の差配で掌の内(なか)だ。鰥夫(やもめ)爺いは、自由労働が待っている。

参加者は A27 清井英治、E35 田中浩、E36 馬江治喜、E36 笹治博司、M36 西村功、A37 森芳信、C I 40 菅家巨通の7名でした。



私の生涯スポーツ

E 36 馬江 治喜



2012年7月16日千葉国際水泳場にて、(社)日本マスターズ水泳協会主催のジャパンマスターズ大会の200m自由形の種目に94歳の男性が、プールそばまで手押し車で来て、飛び込み台へ役員の手助けを得て上り、落ちるようにスタートして200mを完泳しました。この姿を見て地上では満足に歩けなくても、水泳は泳ぐことが出来れば一生続けられるスポーツであると確信しました。

さて昨年11月6日東京町田室内水泳場にて、我が所属チームの先輩である85歳の男性1名、84歳の女性2名と私69歳で合計年齢が322歳となり1000m×4名の男女混合自由形リレー(長水路)に出場しました。そして大先輩ががんばってくれて、タイムが7分12秒03で私としては初めて世界記録突破を果たしました。本当にうれし限りひとりで言いました。これも大先輩のお蔭と深く感謝いたしております。そして、その会場へ丁度、我が母校の先輩で元オリンピック選手であり、今は日本マスターズ水泳協会の副会長の職を務めておられる、普通科29年卒の長谷景治さんが見えなくなつておられ、わざわざ私達のチームが世界記録突破を達成した記念の表彰を表彰台に上がった私達の為に頂けました。本当にありがたい事と深く感謝いたします。そして先日、日本マスターズ水泳協会より、写真のような七宝焼の飾り皿を頂きました。本当に夢にも思わなかった頂き物で私の一生の宝物に



なります。そのリレーと一緒に出場していただいた水泳の先輩より、「馬江さんも生涯、水泳の練習をして私たちのような年齢になつても、若い人とリレーへ出場して、今回のように世界記録突破を更新してください」と言うお話を頂きました。「本当にその通りだな」と心から思いました。良い仲間を得てありがたい事と思うとともに今後必ず健康に十分気をつけて水泳の練習を続ける事を固く心に誓いました。

芸術の秋を堪能(陶芸会報告)



ME H16 岡崎 彰

9月15日(土)に、青覚会主催の陶芸会が、柚木氏の「くにたち自游工房」にて行われました。この会は何年も前から開催されているとの事ですが、私は今回初めて参加させていただきました。私は陶芸自体は初めてで、小学生の頃に図画工作で粘土をいじった事がありますが、土で何かを作るという事はそれ以降記憶にありません。楽しみ半分・不安半分のような心持ちで現地に向かいました。そんな感じだったためか、電車の中でスマートフォンを紛失するという失態をしてしまいました(後日ちゃんと見つかりました)。

工房に着いてからは、そんな気分を振り払うよう、作業に没頭するようにしました。まずどのような物を作るかを決めなくてはなりません。私はお酒用のコップを作ることになりました。コップにした理由は、今回が初の作品ということなので、小難しかったり凝ったデザインだったりする物よりも、確実な一つの物を作り上げたいという想いがあつたからです。また、日常的に使える物にしたい。良い箇所悪い箇所を次の作品へのイメージにして繋げていきたいという考えもありました。実際に作業している時には、大前提である

「確実な一つの物を作る」ということを意識して取り組みました。基本的にはスタッフさんから教えていただいた事を忠実に守るようにはしていました。また、自分なりにコップの底と側面の厚さをなるべく均一にしたり、高さを足す度に外側に広がり過ぎないように注意したり、ひび割れのような箇所を埋めていったり・・・大体形になってきたならば入念に仕上りのチェックをして、所々スタッフさんの手も借り、何とか完成させました。

およそ二〜三時間の作業時間でしたが、作業終了までがほんの1時間弱くらいに感じ、自分でもかなり集中していたのだと思えました。仕事で触るのは専らパソコンのマウスとキーボードばかりなので、それとは違う刺激による新鮮さや、いつもとは違う脳の使い方が出てくるのではないかという思いを体感することが出来ました。一方、参加された他の先輩方の作品を拝見すると、自分では思い浮かべないようなデザインの物ばかりで、次への創作意欲が溢れ出てくるような気分になりました。

関東へ来てから、総会に始まり、各種見学会に参加させていただき、またこの陶芸会でも良い時間・経験を得られました。次回も楽しみにしております。



陶芸会・くにたち自游工房にて



今回参加者の作品

桂米左(A59 木村佳氏) 独演会の報告

E 35 田中 浩



10月28日(日)に東京浅草見番にて15回目の独演会が開催されました。今年若手の前座に続き江戸の大名跡、九代・林家正蔵師匠の唄が花を添えていました。演目は「まめだ」と中入り後の「三十石夢の通路」で米佐氏の熱演が披露されました。参加者はA28酒井保、E36赤尾仁史、E36馬江治喜、M36西村功、E35田中浩の5名(敬称略)と本部大阪から評議員のC15釜順子氏が飛び入り参加されたの楽しい一日でした。

ホキ美術館見学会の報告

A 57 信原 利行

10月13日(土) 青覚会催しで千葉市のホキ美術館見学を行いました。建築科のみならず他科からも多数の参加を頂き、16名にて写真絵画の美術館と日本建築大賞受賞の建物の見学を行いました。見学終了後は土気駅前恒例の懇親会を行い親睦を深めることが出来ました。



懇親会での乾杯

訃報

M16年卒 田幸 敏治氏 平成23年12月 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号の Mニュースは平成25年7月 発行予定です。

皆様の原稿を お待ちしています! 事務局までお送りください。

事務局メールアドレス変更のお知らせ
変更後のメールアドレスは、
har1942umae@iris.ocn.ne.jp
浪速工業会関東支部事務局・馬江 治喜